

2019 年度小学校教員資格認定試験

教科及び教職に関する科目 (I)

注 意 事 項

受験者は、下記注意事項によること。それ以外の注意事項は試験運営大学の指示によること。

1. 試験監督者の「始め。」の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
2. 運営大学名、氏名、受験番号、受験科目を 2019 年度「幼稚園・小学校教員資格認定試験解答カード」(以下、「解答カード」という。)の指定された欄に必ず記入してください。
3. 受験番号、受験科目をマークしてください。
ただし、受験科目のマークについては、小学校の欄にマークしてください。
4. 解答カードの中で特に受験番号、受験科目の欄の記入及びマークを間違えると失格になるので注意してください。
5. 解答は、全て解答カードの解答欄にマークで記入してください。問題冊子に答えを書いても無効です。
6. マークは必ず鉛筆を使用して、枠内にきちんと記入してください。
訂正するときは、消しゴムで完全に消してください。また、解答カードを曲げたり折ったりしてはいけません。
解答カードが汚れた場合や折れてしまった場合は、試験監督者に解答カードの交換を申し出てください。
7. この試験の解答時間は、「始め。」の合図があってから 70 分です。
8. 試験が終わるまで退室できません。 [マーク例]
9. 試験監督者の「やめ。」の合図があったら、直ちにやめてください。 (よい例) ●
10. 下書きには問題冊子の余白を使用してください。
11. 試験終了後、問題冊子を必ず持ち帰ってください。 (悪い例) ⊗ ⊗ ⊗ ⊗

問 1 次の各文は、日本の義務教育制度に関する法令について説明したものである。法令の内容の説明として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 1879(明治12)年の教育令では、その序文において、学問することは立身出世の手段であり、すべての人が学ばなければならないことが示された。

イ 1886(明治19)年の第一次小学校令では、4年間の尋常小学校への就学は「義務」であることが規定された。

ウ 1907(明治40)年の第三次小学校令の改正により、それまで尋常小学校の4年間を義務教育と規定していたものを6年間に延長した。

エ 1941(昭和16)年の国民学校令では、「皇国ノ道」に則り、初等普通教育を施すとともに、「錬成」を目的とすることが規定された。

問 2 次の文章は、近代ヨーロッパの教育思想家によって書かれた著作の一節である。この著作の著者名と著書名の組合せとして正しいものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

われわれは、基礎陶冶の理念を完全に満足させる教育方法や教授方法は考えられない、と率直に言わなければならない。

たとえその原則をどのように明らかにしてみても、その手段を最高に単純化し、その実行の内的な同一性をどのように明らかにしても、その実行手段が外的に同一であるとは考えられない。

(中略)

私は、基礎的な陶冶手段が人間陶冶へと深く関与することの探究を目的とするわれわれの試みの成果を、あらゆる合自然的な教育の本質の偉大な基本原則によって、すなわち「生活が陶冶する」という原則によって道徳的、精神的、および身体的な観点から考えてみたい。

著者名	著書名
ア カント(Kant, I.)	『教育学講義』
イ フレーベル(Fröbel, F.W.A.)	『人間の教育』
ウ ペスタロッチ(Pestalozzi, J.H.)	『白鳥の歌』
エ ルソー(Rousseau, J.J.)	『エミール』

問 3 次のA～Dの文は、代表的な教育方法を提唱した人物について説明したものである。それぞれの文が述べている人物名の組合せとして正しいものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- A 学習者の認知のメカニズムに基づいて、明瞭、連合、系統、方法という4つの段階によって構成される4段階教授を提唱した。
- B 学校を小さな社会にとらえ、社会的に意味のある活動を通して、生きた知識・技能を身に付けさせる教育活動をシカゴ大学実験学校で実施した。
- C アメリカのマサチューセッツ州のある街において、教科を主要教科と副次教科とに二分し、主要教科を個別学習によって学ばせる教育を実施した。
- D 教育を印刷術になぞらえ、少数の教師で多数の子供の心に正確に知識を書き込むことができるような教授術を提唱した。

	A	B	C	D
ア	ライン	デューイ	パーカースト	ラトケ
イ	ヘルバルト	デューイ	パーカースト	コメニウス
ウ	ライン	パーカースト	デューイ	コメニウス
エ	ヘルバルト	パーカースト	デューイ	ラトケ

問 4 次の各文は、「教育基本法」(平成18年法律第120号)に関する説明である。同法の条文に照らして正しいものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 国民は、その保護する子に9年の普通教育を受けさせなければならない。
- イ 国又は地方公共団体の設置する学校における義務教育については、授業料及び教科書代を徴収しない。
- ウ 法律に定める学校の教員は、自己の崇高な使命を深く自覚し、絶えず研究と修養に励み、その職責の遂行に努めなければならない。
- エ 法律に定める学校の教員は、児童、生徒及び学生の教育について第一義的責任を有するものであって、生活のために必要な習慣を身に付けさせるとともに、自立心を育成し、心身の調和のとれた発達を図るよう努めるものとする。

問 5 「学校教育法」(昭和 22 年法律第 26 号)の条文として正しいものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア この法律で、学校とは、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校、大学及び専門学校とする。

イ 小学校においては、文部科学大臣の検定を経た教科用図書又は文部科学省が著作の名義を有する教科用図書を使用しなければならない。

ウ 経済的理由によつて、就学困難と認められる学齢児童又は学齢生徒の保護者に対しては、国及び地方公共団体は、必要な援助を与えなければならない。

エ 小学校には、校長、教頭、教諭及び養護教諭を置かなければならない。

問 6 次の各文は、「児童虐待の防止等に関する法律」(平成 12 年法律第 82 号)の一部である。文中の ① ～ ④ に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

第 5 条第 1 項 学校、児童福祉施設、病院その他児童の福祉に業務上関係のある団体及び学校の教職員、児童福祉施設の職員、医師、歯科医師、保健師、助産師、看護師、弁護士その他児童の福祉に職務上関係のある者は、児童虐待を ① しやすい立場にあることを自覚し、児童虐待の早期 ② に努めなければならない。

第 6 条第 1 項 児童虐待を受けたと思われる児童を ③ した者は、速やかに、これを市町村、都道府県の設置する福祉事務所若しくは児童相談所又は児童委員を介して市町村、都道府県の設置する福祉事務所若しくは児童相談所に ④ しなければならない。

第 9 条第 1 項 ⑤ は、児童虐待が行われているおそれがあると認めるときは、⑥ をして、児童の住所又は居所に立ち入り、必要な調査又は質問をさせることができる。この場合においては、その身分を証明する証票を携帯させ、関係者の請求があつたときは、これを提示させなければならない。

	①	②	③	④
ア	発見	通告	都道府県知事	児童委員又は児童の福祉に関する事務に従事する職員
イ	確認	通報	教育委員会	当該児童の在籍する学校の教職員
ウ	発見	通告	教育委員会	当該児童の在籍する学校の教職員
エ	確認	通報	都道府県知事	児童委員又は児童の福祉に関する事務に従事する職員

問 7 次の各文は、教育公務員の服務に関する説明である。「地方公務員法」(昭和 25 年法律第 261 号)及び「教育公務員特例法」(昭和 24 年法律第 1 号)の条文の内容に照らして誤っているものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 教育公務員の採用は、全て条件付のものとし、その職員がその職において六月を勤務し、その間その職務を良好な成績で遂行したときに正式採用になるものとする。
- イ 教育公務員は、その職の信用を傷つけ、又は職員の職全体の不名誉となるような行為をしてはならない。
- ウ 教育公務員は、地方公共団体の機関が代表する使用者としての住民に対して同盟罷業、怠業その他の争議行為をし、又は地方公共団体の機関の活動能率を低下させる怠業的行為をしてはならない。
- エ 教育公務員は、その職務を遂行するに当って、法令、条例、地方公共団体の規則及び地方公共団体の機関の定める規程に従い、且つ、上司の職務上の命令に忠実に従わなければならない。

問 8 次の文章は、「小学校学習指導要領」(平成 29 年文部科学省告示第 63 号)の「第 1 章 総則 第 2 教育課程の編成 4 学校段階等間の接続」の一部である。文章中の ～ に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

低学年における教育全体において、例えば において育成する自立し生活を豊かにしていくための資質・能力が、他教科等の学習においても生かされるようにするなど、教科等間の関連を積極的に図り、幼児期の教育及び中学年以降の教育との円滑な接続が図られるよう工夫すること。特に、小学校入学当初においては、幼児期において自発的な活動としての を通して育まれてきたことが、各教科等における学習に円滑に接続されるよう、 を中心に、 な指導や弾力的な時間割の設定など、指導の工夫や指導計画の作成を行うこと。

- | | ① | ② | ③ |
|---|-----------|-----|---------|
| ア | 総合的な学習の時間 | 学 び | 横断的・総合的 |
| イ | 生活科 | 遊 び | 合科的・関連的 |
| ウ | 総合的な学習の時間 | 遊 び | 合科的・関連的 |
| エ | 生活科 | 学 び | 横断的・総合的 |

問 9 次の文章は、「小学校学習指導要領」(平成 29 年文部科学省告示第 63 号)の「前文」の一部である。文章中の ① ~ ③ に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

① を通して、これからの時代に求められる教育を実現していくためには、よりよい学校教育を通してよりよい社会を創るという理念を学校と社会とが共有し、それぞれの学校において、必要な学習内容をどのように学び、どのような資質・能力を身に付けられるようにするのかを ① において明確にしなが、社会との連携及び協働によりその実現を図っていくという、② の実現が重要となる。

③ とは、こうした理念の実現に向けて必要となる ① の基準を大綱的に定めるものである。③ が果たす役割の一つは、公の性質を有する学校における教育水準を全国的に確保することである。また、各学校がその特色を生かして創意工夫を重ね、長年にわたり積み重ねられてきた教育実践や学術研究の蓄積を生かしなが、児童や地域の現状や課題を捉え、家庭や地域社会と協力して、③ を踏まえた教育活動の更なる充実を図っていくことも重要である。

	①	②	③
ア	学習指導要領	教育課程	社会に開かれた教育課程
イ	社会に開かれた教育課程	学習指導要領	教育課程
ウ	学習指導要領	社会に開かれた教育課程	教育課程
エ	教育課程	社会に開かれた教育課程	学習指導要領

問10 「小学校学習指導要領」(平成 29 年文部科学省告示第 63 号)の「第 5 章 総合的な学習の時間 第 2 各学校において定める目標及び内容 3 各学校において定める目標及び内容の取扱い」の内容に照らして、配慮事項として記載されていないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 総合的な学習の時間の目標及び内容は、他教科等で育成を目指す資質・能力との関連を重視すること。
- イ 総合的な学習の時間の目標及び内容は、日常生活や社会との関わりを重視すること。
- ウ 総合的な学習の時間の目標を実現するにふさわしい探究課題については、学校の実態に応じて、児童の興味・関心に基づく課題などを踏まえて設定すること。
- エ 総合的な学習の時間の目標を実現するにふさわしい探究課題については、異年齢集団による交流を踏まえて設定すること。

問11 次の文章は、「小学校学習指導要領」(平成29年文部科学省告示第63号)の「第3章 特別の教科 道徳 第3 指導計画の作成と内容の取扱い」の一部である。文章中の ① ～ ③ に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

各学校においては、道徳教育の ① に基づき、各教科、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動との関連を考慮しながら、道徳科の ② を作成するものとする。なお、作成に当たっては、第2に示す各学年段階の内容項目について、相当する各学年において全て取り上げることとする。その際、児童や学校の実態に応じ、 ③ 学年間を見通した重点的な指導や内容項目間の関連を密にした指導、一つの内容項目を複数の時間で扱う指導を取り入れるなどの工夫を行うものとする。

	①	②	③
ア	全体計画	年間指導計画	2
イ	年間指導計画	全体計画	6
ウ	全体計画	個別の指導計画	6
エ	個別の指導計画	年間指導計画	2

問12 次の文は、「小学校学習指導要領」(平成29年文部科学省告示第63号)の「第6章 特別活動 第3 指導計画の作成と内容の取扱い」の一部である。文中の ① , ② に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

学校生活への適応や人間関係の形成などについては、主に集団の場面で必要な指導や援助を行う ① と、個々の児童の多様な実態を踏まえ、一人一人が抱える課題に個別に対応した指導を行う ② の双方の趣旨を踏まえて指導を行うこと。

	①	②
ア	アセスメント	ガイダンス
イ	カウンセリング(教育相談を含む。)	ガイダンス
ウ	ガイダンス	カウンセリング(教育相談を含む。)
エ	アセスメント	カウンセリング(教育相談を含む。)

問13 特別支援教育についての説明として誤っているものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 各学校において行う特別支援教育の対象は、特別支援学級はもとより、通常の学級を含む、全ての教育上特別の支援を必要とする幼児児童生徒である。
- イ 幼児児童生徒に障害の可能性が考えられる場合は、通常の学級の担任・教科担任が校内の推進役となり、幼児児童生徒の行動等の背景にある障害の特性について正しく理解し、適切な指導や必要な支援をしていくことが大切である。
- ウ 発達障害をはじめとする見えにくい障害については、通常の学級に在籍する教育上特別の支援を必要とする幼児児童生徒のつまずきや困難な状況を早期に発見するため、幼児児童生徒が示す様々なサインに気付くことや、そのサインを見逃さないことが大切である。
- エ 通常の学級の担任は、学級に教育上特別の支援を必要とする幼児児童生徒がいることに気付いた場合、保護者との情報共有を行うことが重要であり、保護者の思いや考え方を考慮する必要がある。

問14 文部科学省が「いじめの防止等のための基本的な方針」(平成25年10月11日文部科学大臣決定平成29年3月14日最終改定)で示している学校におけるいじめ防止等に関する措置として正しいものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 学校の教職員がいじめを発見し、又は相談を受けた場合には、いじめの被害者と加害者を特定したうえで両者に聴き取りをし、いじめを受けた児童等が在籍する学校への通報その他の適切な措置をとるものとする。
- イ いじめの背景には、勉強や人間関係等のストレスが関わっていることを踏まえ、いじめられる側にも問題がある場合を想定し、学級や学年、部活動等の人間関係を把握するよう努める必要がある。
- ウ いじめは教職員が中心になって問題解決を図るべき事柄であり、個人情報保護の観点から、児童生徒にいじめについて考えさせる授業を行うことは好ましくない。
- エ いじめが解消している状態とは、いじめに係る行為が止んでいること及び被害児童生徒が心身の苦痛を感じていないことの少なくとも二つの要件が満たされている必要がある。

問15 日常生活における行動と心理学的理論の説明として正しいものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 事故で電車が途中駅で止まってしまったが、頭の中に地域全体の地図が描けるので、自分で迂回路を見いだせた。これは試行錯誤説による学習である。
- イ 予防注射をして痛みを感じた幼児が、次に注射を見ただけで泣き出すのは、レスポナント条件づけ(古典的条件づけ)によって、痛みと注射が結び付いてしまったからである。
- ウ 遠くの店だが買い物でポイントを貯めるとプレゼントがもらえるので、わざわざその店に通って買い物をしている。これは、社会的学習理論によるものである。
- エ 逆上がりができずに長い間悩んでいたが、偶然回ることができた後は、容易にできるようになった。これは、オペラント条件づけによって回るコツをつかんだからである。

問16 親子関係に関する説明として誤っているものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア ボウルビィ(Bowlby, J.M.)は、親子間で形成される緊密性の高い情緒的結び付きこそが、安定した親子関係にとって重要な要素になることを指摘した。
- イ ローレンツ(Lorenz, K.Z.)は、生後初めて動く対象にヒナ鳥が追従行動を示すことを明らかにし、初期経験の重要性を指摘した。
- ウ エインズワース(Ainsworth, M.D.S.)は、母親の入退室に際しての幼児の反応をもとに、母子間にどのような関係が構築できているかを明らかにできる実験法を開発した。
- エ サイモンズ(Symonds, P.M.)は、健全な親子関係が形成できないと心身の発達が遅れることを見だし、安心感の重要性を指摘した。

問17 教育評価についての説明として正しいものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 総括的評価とは、単元や学期などの最後に学習活動のまとめとして行うもので、指導計画全体を振り返るとともに、学習者の成績を付けるための情報収集の手段としてなされる評価である。
- イ 目標に準拠した評価とは、偏差値などを用いて、集団内での個人の成績を客観的に知ることができる評価である。
- ウ 形成的評価とは、学習者に十分なレディネスが形成できているかどうかを確かめることを目的とした評価である。
- エ 個人内評価とは、どの水準までできたかという結果より、どのような学びをしたかという過程を重視し、活動記録や調査内容、作品などの振り返りから構成される評価である。

問18 性格検査についての説明として誤っているものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア TAT は、被検者によって語られた空想物語の内容を分析することで、欲求について診断することができる。
- イ SCT は、未完成の文章に自由に補った言葉から対人関係の様子や自己認識の状況を把握することができる。
- ウ HTP は、実のなる木を描かせ、その樹型などから人物像を明らかにできる。
- エ MMPI は、性格面でどのような病的な面を持っているかどうかを質問文への回答から解き明かすことができる。

問19 『小学校キャリア教育の手引き(改訂版)』(平成23年5月文部科学省)では、小学校におけるキャリア発達の段階を「進路の探索・選択にかかる基盤形成の時期」とし、4つの点がキャリア教育の目標例として示されている。その内容として誤っているものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 自己及び他者への積極的関心の形成・発展
- イ 自己の仕事や環境への関心・意欲の向上
- ウ 夢や希望、憧れる自己イメージの獲得
- エ 勤労を重んじ目標に向かって努力する態度の育成

問20 「第2次学校安全の推進に関する計画」(平成29年3月24日閣議決定)に示された、「学校安全に関する組織的取組の推進」の施策目標の内容として誤っているものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 全ての学校において、学校安全の中核となる教職員のリーダーシップの下、組織的な学校安全体制を構築する。

イ 全ての学校において、学校安全計画及び危機管理マニュアルを策定する。

ウ 全ての学校において、自校の学校安全に係る取組を評価・検証し、学校安全計画及び危機管理マニュアルの改善を行う。

エ 全ての教職員が、各種機会を通じて、各キャリアステージにおいて、必要に応じた学校安全に関する研修等を受ける。